

株主の皆様へ

Top Message

社会インフラを支える 水と空気のプロフェッショナル集団 技術を見つけ、育て、活かす



代表取締役社長 来山 哲二

株主の皆様には、平素より当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第30期（2017年9月1日から2018年8月31日まで）年次報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における事業環境は、企業収益及び雇用・所得環境の改善が続かなかで、個人消費が比較的順調に推移し、かつ、各種政策の効果もあり、総じて景気は緩やかに回復しております。しかしながら、人手不足やそれに伴う労務コストの上昇、通商問題の動向や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は環境・エネルギー事業において、全国主要都市に設置する事業所を拠点に、地域密着型の営業展開を推進するとともに、新たに北海道地区での展開も本格的にスタートさせ、水処理機器をメインとした受注活動を進めてまいりました。その一方で、景観配慮型防潮壁「SEAWALL」の本格的な拡販を組織的に進めてまいりました。

動力・重機等事業においては、造船市況が改善傾向にあることや、国内景気が安定的に推移していることを背景に産業機械部品関連の需要が増加傾向で推移しております。このため、船舶機器部品及び産業機械部品に関連する顧客への訪問頻度を増やすなど営業に注力し受注活動を図ってまいりました。

防災・安全事業においては、スプリンクラー設備の設置に対して補助金が支給される有床診療所に向けて重点的な営業を実施し、自社開発のスプリンクラー消火装置ナイアスの納入実績を積上げてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度において、売上高は5,730百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は197百万円（前年同期比52.4%増）となりましたが、前連結会計年度に計上した保険解約返戻金24百万円の減少等により、経常利益は159百万円（前年同期比12.9%減）となり、その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は128百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

なお、当連結会計年度より、経営全般にわたって、より効率的な連結事業運営を図ることを目的として連結子会社株式会社三和テスコ及び東洋精機産業株式会社の決算日を6月30日から当社の連結決算日である8月31日に変更したことに伴い、当連結会計年度には、当該連結子会社2社の2017年7月1日から2018年8月31日までの14ヶ月間の業績を反映しております。

また、個別決算の業績につきましては、売上高は3,630百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は145百万円（前年同期比38.8%増）、経常利益は179百万円（前年同期比3.3%増）、当期純利益は157百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

財務ハイライト

Financial Highlights

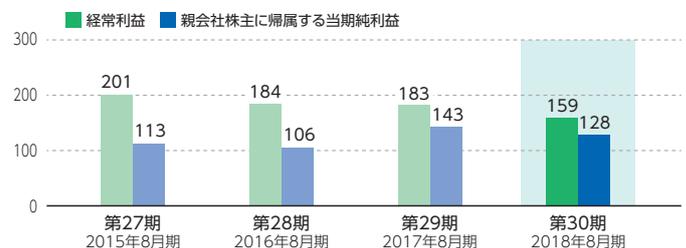
売上高

(単位:百万円)



経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



純資産額及び総資産額

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



(注) 当社は、2017年9月29日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っておりますが、第27期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

事業別の概況

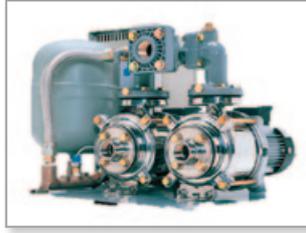
Operating Results

環境・エネルギー事業

セグメント売上高 **2,559**百万円

セグメント利益 **117**百万円

北海道地区への進出により同地区での顧客数が増加し、景観配慮型防潮壁「SEAWALL」は、着実に実績が積上がる一方、一時的な大型案件の受注減や一部持ち越し案件が発生しました。



ポンプ

動力・重機等事業

セグメント売上高 **2,016**百万円

セグメント利益 **89**百万円

既存顧客に対して重点的に訪問活動を実施することで需要を掘り起こし受注拡大に努めました。強みである溶接技術と精密加工技術のPRにより、新規開拓に重点をおいた営業展開を図りました。



エンジン台版

防災・安全事業

セグメント売上高 **1,155**百万円

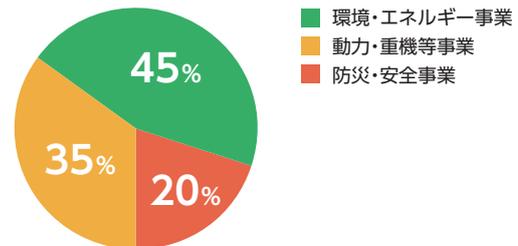
セグメント利益 **96**百万円

大手企業での採用実績をPR材料とし、火災リスクが高い施設をもつ企業へ積極的に営業展開を進め、新たな顧客づくりに全力で注力してまいりました。



スプリンクラー消火設備用加圧送水装置
(製品名「ナイアス」)

事業別売上比率



株式情報／会社情報

Stock Data／Corporate Data

(2018年8月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 4,000,000株

発行済株式の総数 1,877,700株

株主数 1,063名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
来山 哲二	310,600株	16.54%
采女 信二郎	178,100	9.48
東洋額装株式会社	115,000	6.12
ポエック従業員持株会	109,421	5.82
来山 美佐子	65,500	3.48
NOMURA PB NOMINEES LIMITED A/C CPB30072 482276 常任代理人 野村證券㈱	48,200	2.56
下田 武久	40,000	2.13
小林 正明	38,000	2.02
ごうぎんキャピタル株式会社	26,000	1.38
藤田 砂智	23,300	1.24

会社の概要

商号	ポエック株式会社
本社所在地	広島県福山市南蔵王町二丁目1番12号
設立	1989年1月25日
資本金	460,758,500円
従業員数	73名
事業内容	1 ポンプ、送風機、空調機、工場設備機器の販売 2 機器類修理、保守点検、設計施工 3 熱交換器の販売 4 防災機器の販売

役員

代表取締役社長	来山 哲二	取締役（社外）	森 紀 男
代表取締役副社長	采女 信二郎	取締役（社外）	高坂 敬三
専務取締役	寒川 貴宣	取締役	村本 修
常務取締役	松村 俊宏	常勤監査役	上村 一武
常務取締役	三谷 俊二	監査役（社外）	小林 景
取締役	吉本 貞幸	監査役（社外）	池田 和三
取締役	森本 敏昭		

株主メモ

事業年度	毎年9月1日～翌年8月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年8月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年2月末日
定時株主総会	毎年11月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.puequ.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **ポエック株式会社**

本社
広島県福山市南蔵王町二丁目1番12号
ホームページからも当社のIR情報をご覧ください。

URL : <http://www.puequ.co.jp/>

**UD
FONT**